



## 夏休みの経験を力に

夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。長い夏休みの間、子どもたちはそれぞれの場所で、さまざまな経験を重ねたことと思います。学校を離れて過ごす時間の中でも、スポーツや地域の行事、さまざまな活動を通して、野田小学校の子どもたちのがんばりや活躍を見ることができました。

夏休み中に予定していた水泳充実指導では、5・6年生の子どもたちが25m完泳をめざして練習に取り組みました。今年度は、厳しい暑さのため、残念ながら1日のみの実施となりましたが、限られた時間の中で、一人一人が自分の目標に向かって一生懸命練習する姿が見られました。



また、7月28日には、門真市にあるRACTABドームで、大阪市小学校体育連盟主催の「大阪市児童水泳記録会」が開催され、本校から5・6年生7名が参加しました。学校のプールとは比べものにならないほど大きな50m・10コースのプールで、自由形、平泳ぎなどの種目やメドレーリレーなどに出場しました。参加した子どもたちは、一人一人が最後まで全力で泳ぎ切り、これまでの練習の成果を十分に発揮していました。

7月30日には、大阪市教育委員会主催の「イングリッシュ・デイ」が浪速スポーツセンターで開催され、本校から5・6年生7名が参加しました。C-NETの先生方や市内の他校の子どもたちと交流しながら、ゲームやダンスなど、さまざまなアクティビティに挑戦しました。英語を使って活動する貴重な体験を通して、英語で伝える楽しさやコミュニケーションの大切さを実感する1日となりました。



7月19日、20日には、野田恵美須神社の夏祭りのだんじりに参加した子どもたちもいました。元気のよいかけ声を響かせながら、だんじりとともに町を練り歩きました。地域に昔から受け継がれてきた祭りの伝統に触れる、貴重な機会となりました。これからも、地域の一員として、こうした伝統を大切に受け継いでほしいと思います。

さらに、8月19日には、大阪市役所で「おおさか子ども市会」が開催され、本校から6年生児童1名が、福島区から唯一の子ども議員として参加しました。他区の子も議員と意見を交わしながら、大阪市のこれからについて考えました。子ども議員としての貴重な経験を通して、市会の役割や大阪市の取組について理解を深めるとともに、自分たちの暮らす大阪市の未来について考えるよい機会となりました。



(※裏面に続く)



(※表面より)

このように、夏休みには、スポーツに挑戦したり、英語を通して交流したり、地域の伝統に触れたり、大阪市の未来について考えたりと、学校の中だけでは得られないさまざまな学びがありました。一つ一つの経験が、子どもたちの成長につながっていることと思います。



2学期も、こうした経験を生かしながら、友達と学び合い、新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げていってほしいと思います。これから始まる学校生活の中でも、一人一人の子どもたちが、それぞれのよさを発揮し、いきいきと輝く姿を楽しみにしています。

## 子どもたちの夏休みの作品



8月26日～28日に教室等に掲示していた作品の中から、一部を紹介します。

夏休みの間に、子どもたちが工夫しながら取り組んだ力作がたくさんありました。すでにコンクールなどに提出した作品もあるため、今回はその一部のみを紹介します。子どもたちの力作をすべてお伝えできないのが残念ですが、作品の数々をご覧ください。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。